

まさかは必ず
やってくる

冬の「まさか」～暴風雪～への備え

冬の気象情報に注意！



※1 暴風雪による被害は、晴天から悪天へと天気が急変したときに多く発生しています。気象台から「数年に一度の猛吹雪」「外出は控えてください」という呼びかけがあったときは、晴れていても数時間後には猛吹雪となり、屋外での行動は危険になる場合があるので特に警戒が必要です。暴風雪が予想されている時は、無理せず外出は控えましょう。

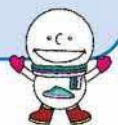
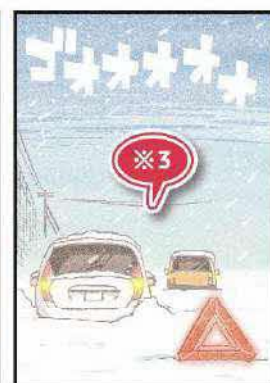


イラスト
やまもと



作画：ヤマモトマナブ
北海道旭川市出身の
まんが家だよ！

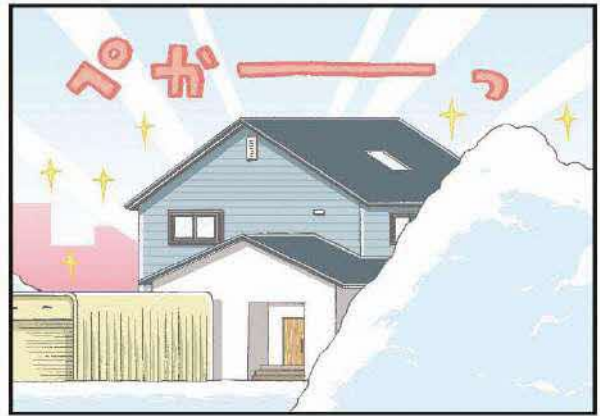
運転中に天候が急変したら



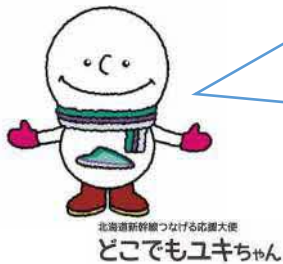
- ※2 運転中に風雪により視界が悪くなったときは、近くの道の駅やコンビニなどで天気の回復を待ちましょう。
- ※3 路上で停車せざるを得なくなった場合は、追突事故を引き起こさないよう、ハザードランプを点滅し、停止表示板を置きましょう。
- ※4 一酸化炭素中毒の危険をなくすには、エンジンを切ることが大切です。日ごろから、次の物を車に備えておきましょう。＜防寒着、毛布、手袋、長靴、スコップ、スノーブラシ、けん引ロープ＞



- ※5 除雪作業、特に屋根の雪おろしは、2人以上で声をかけあって行いましょう。靴やはしごには滑り止めを、腰には命綱を。はしごの上り下りには特に注意しましょう。
- ※6 晴れた日ほど、屋根からの落雪・落氷が発生しやすくなっています。軒下に注意しましょう。
- ※7 除雪機に雪が詰まったときは、必ずエンジンを切って、棒などで取り除きましょう。



昨シーズンの雪による道内の被害状況（令和元年11月～令和2年3月）



<ポイント>

雪による被害にあった方は119人で、約6割が65歳以上です。

多くは、除雪作業中の屋根やはしごからの転落によるものです。

道民の皆様には、大雪や暴風雪への備えとともに、除雪作業中の事故に本当に気をつけてほしいですノー！

人的被害（人）				発生時期					年齢					発生要因				
死者	重傷	軽傷	計	11月	12月	1月	2月	3月	20歳以下	21～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	屋根転落	はしご転落	落水雪	除雪機	その他
4	27	88	119	6	15	38	38	22	1	20	23	36	39	21	27	14	10	47